

令和 5 年度大阪急性期・総合医療センター災害訓練概要

1. 実施日時 令和 5 年 9 月 6 日（水） 11 時から 17 時予定（訓練 16 時終了）
2. 実施場所 大阪急性期・総合医療センター 本館、中央館、南館、災害拠点病院支援施設

3. 訓練想定

令和 5 年 8 月 28 日（月）8 時 ランサムウェアによるシステム障害が発生した。

令和 5 年 9 月 6 日（水）7 時 南海トラフ地震が発生した。住吉区は震度 6 弱。院内は停電後、自家発電機からの供給（非常系での通電）、外線電話不通、院内 PHS 通話可、EV 運転再開。半壊建物から負傷者救出、津波浸水地域からの病院避難・患者受入れを行っている。断水・停電の復旧の目途は立っていない。システム障害のフェーズは、電子カルテの参照系が使用可能になっている。

<被害想定：大阪府自然災害総合防災対策検討報告書、当センター令和 4 年 3 月版 BCP、大規模システム障害 BCP(案)を活用>

4. 訓練目標

全体目標：システム障害下での自然災害対応ができる。

：紙運用の習熟度の確認ができる。

『The BCM～PDCA サイクルを意識した BCP の見直し～』

BCP の点検を効果的に行い事業継続マネジメント（BCM）活動を行う

- (1) <P>訓練実施前の BCP マニュアル見直しと改訂
- (2) <D>訓練での BCP マニュアル評価方法の確認と準備
- (3) <C>訓練中における BCP マニュアルの検証
- (4) <A>検証結果に基づいた次版 BCP マニュアルへの反映

5. 訓練の主な内容

- (1) 自然災害 BCP マニュアルに基づいたセンター全体の動きの確認と検証
 - ✓ 通常診療時間帯での各部門の対応
 - ✓ 災害対応職員の業務確認と対応（災害棟運営マニュアル検証）
 - ✓ コロナ患者・発熱患者の受け入れとゾーニング、搬出の対応
 - ✓ 節電・節水の徹底
- (2) 大規模システム障害 BCP(案)に基づいたセンター全体の動きの確認と検証
 - ✓ 患者の緊急連絡先の把握
 - ✓ 紙カルテ運用時の対応
 - ✓ 患者の受け入れ、搬送の調整
- (3) 職員安否確認の把握と勤務シフト作成
 - ✓ Respon:sum の活用

- (4) 余震時の院内被害状況の把握
 - ✓ 各部門からの被害状況報告方法と集約
- (5) 院内外来、入院患者への対応
 - ✓ 退院可能患者の抽出
 - ✓ 転院可能患者の抽出
- (6) 院外大量受け入れ患者の把握
 - ✓ 3 SPiders の有効活用
- (7) その他

6. 本訓練参加者

- (1) プレーヤー：①BCP に記載されている所属長もしくはそれに準ずるもの ②災害対策委員 ③各所属より任命された災害対応職員
- (2) コントローラー：①訓練企画を担当した企画部委員 ②企画部が任命する指定者（主として DMAT 隊員）
- (3) 検証委員：①BCP 策定作業部会委員 ②大阪府健康医療部医療対策課職員